

指揮隊について

指揮隊は、災害現場において災害の情報収集、部隊の統括を行うことを任務としています。特に火災現場などでは複数の消防隊が活動しますので、各部隊が安全かつ迅速に対応できるよう指揮を執る部隊です。

指揮隊が全国で導入されることとなったきっかけは、平成 15 年に神戸市で発生した住宅火災です、当事案では、消火活動中に建物が倒壊し、消防隊員 12 名が脱出できなくなり、消防職員計 13 名の死傷者が発生しました。

その後も、殉職事案が続いたことから、安全管理を徹底するために指揮体制整備の必要性が高まり、平成 17 年に消防力の基準が改正され、指揮隊の運用強化が図られるようになりました。

指揮隊の役割

- 現場状況の把握
- 安全管理
- 本部への状況報告
- 他機関との調整
- 各隊の活動状況の把握
- 関係者の確保と情報収集
- 現場活動図の作成
- 報道対応等

指揮隊導入のメリット

- 早期に現場把握を行い、各隊の活動を統括し有効的な火災防御が行える。
- 各隊の活動を把握し、安全管理を行い、事故の防止が行える。
- 消防団との連携が有効的に行える。
- 関係機関との調整、報道対応等を迅速に行える。

